第62回春季東北地区高等学校野球宮城県大会

□大会第６日目　　５月　25　日（月）

第３位決定戦　楽天Koboスタジアム宮城　２時間　４分

登　米	1	0	0		0	6	4		4						15
石　巻	0	0	0		3	0	0		1						4

（　７回コールド　）

（球）大槻　（一）平岡　（二）安部　（三）高橋勝

【登】白岩 ― 高橋大

【石】亀山・小林・木村 ― 阿部

▽暴投　白岩2（登），亀山・木村（石）　▽捕逸　なし

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【登】	29	10	14	2	3	12	2	8	1	0
【石】	24	7	4	1	3	3	3	5	2	0

▽本塁打　なし

▽三塁打　なし

▽二塁打　佐々木幹・笠原（登）　川畑（石）

【評】

１４年ぶり３回目の東北大会出場を目指す石巻と東北大会初出場を目指す登米との一戦。１点リードされて迎えた４回裏石巻は４番安住，５番阿部が出塁すると６番千葉（大）の犠打で好機を広げ，７番川畑の２点適時二塁打などでこの回３点を返し逆転に成功した。逆転された登米は５回表に代わった２番手小林の制球の乱れにつけこみ，四死球・単打・犠打を絡めて一挙６点を挙げ逆転した。続く６回表３番首藤の右前安打，４番佐々木（幹）の四球で好機をつくると，５番小野寺の右前適時打などで４点を追加した。勢いの止まらない登米は，７回にも４番佐々木（幹），７番笠原の適時二塁打などで更に４点を追加し，試合を決めた。石巻は，投手陣が制球に苦しみ，試合の流れがつくれず東北大会出場を逃した。登米は春・秋通じて初の東北大会出場の切符を手にした。

決勝戦　楽天Koboスタジアム宮城　２時間　３分

柴　田	0	0	0		0	0	0		0	0	3				3
仙台育英	0	0	0		0	2	1		5	0	×				8

（　　）

（球）雁部　（一）加藤　（二）太田　（三）鴇田

【柴】佐藤夏・南舘 ― 佐藤優

【仙】百目木 ― 郡司

▽暴投　百目木（仙）　▽捕逸　なし

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【柴】	34	8	3	0	0	2	10	6	2	1
【仙】	34	12	7	2	1	6	0	9	3	0

▽本塁打　なし

▽三塁打　佐藤将・青木（仙）

▽二塁打　菅野（柴）　なし（仙）

【柴田】		打	安	点
(中)	鈴木　謄磨	4	1	0
(二)	杉山　大智	2	0	0
三	佐藤　健太	2	1	0
(三)	二　糸井　優	4	2	0
(捕)	佐藤　優悟	2	0	0
(遊)	菅野　大樹	4	2	2
(一)	中野　大成	4	0	0
(右)	大友　健史	4	1	1
走	安田　祐也			
(左)	加賀　諒哉	4	1	0
(投)	佐藤　夏月	3	0	0
投	南舘　憲	1	0	0
	計	34	8	3

【仙台育英】		打	安	点
(三)	佐藤　将太	5	2	2
(中)	青木　玲磨	5	2	1
(遊)	平沢　大河	5	1	1
(捕)	郡司　裕也	5	2	0
(一)	佐々木　良介	3	0	0
走	一　瀬戸　泰地	1	1	0
(左)	紀伊　海秀	2	0	0
打	左　山本　昇應太	1	1	0
(右)	佐々木　柊野	1	1	0
打	右　立山　貴大	0	0	1
(二)	谷津　航大	2	0	0
打	西巻　賢二	1	1	2
二	佐々木　啓太			
(投)	百目木　優貴	3	2	0
	計	34	13	7

【評】

中部王者仙台育英と南部王者柴田の決勝戦。先制したのは育英。５回１番佐藤（将），２番青木の連続三塁打で先制。その後３番平沢の右前適時打でこの回２点を挙げた。７回にも代打西巻の２点適時打と１番佐藤（将）の２点適時打などでこの回一挙５点を挙げ，試合の主導権を完全に握った。一方，柴田は９回３番糸井の中前打などの後，５番菅野の右適時２点打と７番大友の左前適時打でこの回３点を挙げ意地を見せた。また柴田は２回に無死一三塁の絶好の先制機会を逸し，試合を優位に進めることが出来なかったことが非常に悔やまれる。